

調査に御協力をお願いします

- 〈お知らせ〉「作物統計調査（現地調査）」を実施しています
- 関東の特産品：春だいこん
- 農林水産統計調査の実施に関するお知らせ

〈お知らせ〉「作物統計調査（現地調査）」を実施しています

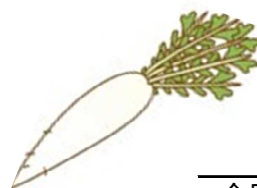
農林水産省では、農業の生産基盤となる耕地の状況と農作物の作付け及び生産に関する実態を明らかにするため、「関東農政局の職員」又は「専門調査員及び統計調査員」が、現地調査を実施しています。



調査に当たりますには、地域内の農道やけい畔等を通行させていただく場合がありますが、調査を実施する職員は身分証明書、専門調査員等は調査用ビブスを着用の上、関東農政局長が発行した調査員証を携行し、地域にお住まいの方々の御不審を招かないよう周辺にお声かけするなどの取組みを行い、調査を実施いたしますので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

関東の特産品

春だいこん



春だいこんの収穫量

(全国上位10都道府県)

全国順位	都道府県	収穫量	全国シェア
位		t	%
1	千葉県	60,800	29
2	青森県	20,700	10
3	長崎県	20,500	10
4	鹿児島県	14,100	7
5	茨城県	13,500	6
6	北海道	11,100	5
7	埼玉県	7,660	4
8	愛知県	6,780	3
9	神奈川県	4,990	2
10	熊本県	4,710	2
—	全国	210,400	—

春だいこんが収穫の時期を迎えます。

平成30年産の全国の春だいこんの収穫量は21万400tですが、関東農政局管内では、千葉県が6万800t（全国第1位）、次いで茨城県が1万3,500t（同5位）、埼玉県が7,660t（同7位）、神奈川県が4,990t（同9位）となっており、全国10位以内に4県が入っており、この4県で全国の約4割を占めています。

（農林水産省統計部「平成30年産野菜生産出荷統計」より）

農林水産統計調査の実施に関するお知らせ

現在実施中及び今後行われる主な調査をお知らせします。

調査は、郵送調査、オンライン調査、調査員調査、現地調査（職員や統計調査員等が作物の作付面積、生育状況等の現地確認、調査対象である農家等のほ場で実測調査及び面接聞き取り）の方法により行います。

調査に伺う職員、統計調査員等は必ず身分証明書又は調査員証を携行し、地域の皆様に御不審等を招くことのないよう注意を払っていますが、お見かけの際はどうぞ遠慮なく声を掛けていただき、地域の情報をお聞かせいただければ幸いです。

調査名	実施期間	調査対象	調査方法	調査の概要
農作物の作付面積、作柄等の把握	年間随時	農地	専門調査員が農地を確認	調査区内（耕地）に作付けされている農作物名及びその面積、作柄及び被害発生状況の把握
収穫量調査（野菜、果樹等）	年間随時	農家及び集出荷団体等	往復郵送調査（集出荷団体等に対してはオンライン調査が可能）	作物ごとの作付面積（結果樹面積）、収穫量（集荷量又は出荷量）及び作柄状況等を把握
新規就農者調査	3月～5月	農業経営体 農業委員会	往復郵送調査又はオンライン調査	就業状態や新規雇用者の有無、状況等を把握
水産加工統計調査	4月～5月	水産加工場 （陸上加工経営体）	往復郵送調査、オンライン調査又は調査員調査	品目ごとの水産加工品の生産量を把握
2020年農林業センサス 農山村地域調査 （農業集落調査）	4月～6月	農業集落	調査員調査	地域資源の保全・利用状況等に関する事項を把握
生産者の米穀在庫等調査	6月～7月	農業経営体	往復郵送調査、オンライン調査又は調査員調査	米の在庫量、消費量及び販売量等を把握

オンライン調査に御協力をお願いします

農林水産省では、簡単なパソコン画面の操作で、皆様の御都合にあわせて回答できる、オンライン調査を一部の調査で実施しています。

自宅や職場のパソコンからインターネット回線を経由して、電子調査票を送信するシステムですが、個別にログイン用 ID が配布され、データは不正アクセスから厳重に守られ、また、データの送受信は暗号化によって保護されており、外部に漏れることはありません。

関東農政局ホームページ「統計調査への御協力をお願い」にも掲載しています。

【https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kyouryokuonegai/index.html】

【問合せ先】

〈農林水産統計全般について〉農林水産省関東農政局統計部統計企画課 TEL 048-740-0058
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1（さいたま新都心合同庁舎2号館 6F）